(様式1)

**研究成果展開事業**

**共創の場形成支援プログラム**

**本格型**

**全体実施計画書**

**対象分野：◯◯分野**

**拠点名称：◯◯拠点**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **プロジェクトリーダー** | **氏名** |  |
| **所属機関** |  |

※Wordに記載のフォントサイズは、10.5ポイントとしてください。（フォントの種類は制限しません）

※余白：左右上下に2.0cmずつ

※提出時には、青字による注釈及び例示はすべて削除してから提出してください。

＜実施計画書について＞

1. 本実施計画書は以下の様式で構成されています。

・実施計画書（全体）　　　　　　　　：1\_実施計画書（本格型）

・実施計画書（年度）　　　　　　　　：2-a\_実施計画書（本格型）

・プロジェクト構成図・研究開発予定表：2-b\_実施計画書（本格型）

・資金計画書　　　　　　　　　　　　：3\_実施計画書（本格型）

・プロジェクト参加者リスト　　　　　：4\_実施計画書

・データマネジメントプラン　　　　　：別紙1\_実施計画書

本様式1には、本プロジェクト全期間に於ける推進内容を記載してください。(１.基本情報、２.全体実施計画までが30ページ程度になることを目安に作成してください。) 資金計画は様式3、プロジェクト参加者リストは様式4に記載してください。

1. 審査会や拠点面談、サイトビジット等でプログラムオフィサーやアドバイザー等から提案、要望、懸念等が寄せられた場合、それらに対してどのような方針で臨むかが判るように記載してください。
2. 参画機関間で十分協議の上で作成・共有し、合意したものを記載してください。
3. ２年度目からは、過年度の実施進捗状況、プログラムオフィサーおよびアドバイザーからの指摘事項等を反映して、必要に応じて全体計画を見直すとともに、当該年度に実施するプロジェクト推進の内容、予算計画等を記載します。記載内容を変更した場合は、変更点がわかるよう差分をつけてご記載ください。
4. 実施計画書は、プロジェクト推進に当たっての基本となり、評価の基礎資料の一つとなります。
5. 実施計画書はプログラムオフィサーの確認および承認後に確定となります。
6. 確定後の実施計画書に記載された予算等は、当該年度の委託研究契約書に直接反映しますので、所属機関名や委託研究費配分など、誤りのないようにご留意ください。
7. 実施計画書は、各研究機関とJSTが契約する委託研究の具体的な内容を定めるものです。そのため、委託研究費は本計画書に沿って適切に執行してください（JSTは委託研究費の支出状況の確認に際して、本実施計画書を参照します）。

なお、研究機関は、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）（平成１９年２月１５日施行/平成２６年２月１８日改正文部科学大臣決定）」（その後の改正を含む。）に基づき、研究機関の責任において公的研究費の管理・監査の体制を整備した上で、委託研究費の適正な執行に努める必要があります。

1. 委託研究費の執行にあたっては、JSTと委託研究契約を締結する各研究機関の経理・契約等の関係部門に当該実施計画書の内容を事前にお知らせください。具体的には、代表機関は、様式3、4を各参画機関の事務担当者にご送付ください。

（なお、プロジェクト内であっても他機関の情報が含まれるため、情報の取扱いにご留意ください。）

1. 年度途中における実施計画の変更・改訂について

**プログラムオフィサーの承認を得ることにより、年度途中における実施計画の変更が可能です**。

実施計画に変更が生じ、実施計画書に修正が生じる場合は、JST担当者に連絡してください。JST担当者を通じてのプログラムオフィサーの確認・承認が必要となります。実施計画書の改訂の方法等は、JSTホームページをご参照ください。

https://www.jst.go.jp/pf/platform/download.html

特に実施計画内容の大幅な変更については、JSTと大学等との変更契約の締結が必要となりますのでご留意ください。

「実施計画内容の大幅な変更」に該当する例

* + 研究開発責任者の変更、大学等の参画機関の追加や削減
  + 委託研究費の増減
  + 研究開発の方向性に大幅な変更の必要が生じた場合
  + 高額な機器の購入計画の変更　　　　　　　　　　　　など

改 訂 履 歴

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 改訂年月日（※） | 対象項目 | 改訂内容 | 備考（本文の修正の有無など） |
| 1 | 202○年○月○日 |  | 実施計画書の作成 |  |
| 2 | 202○年○月○日 | （例）研究開発課題 | (例)新規研究開発課題の設定に伴い修正 |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |

※「改訂年月日」欄：　全体実施計画の変更日をご記入ください

目次

[１．基本情報 1](#_Toc120725981)

[２．全体実施計画 3](#_Toc120725982)

[２－１．拠点・プロジェクトの構成（研究開発内容に係る） 3](#_Toc120725983)

[２－２．拠点ビジョン 4](#_Toc120725984)

[２－３．ターゲット 6](#_Toc120725985)

[２－４．研究開発課題 7](#_Toc120725986)

[２－４－１．研究開発計画（全体） 7](#_Toc120725987)

[２－４－２．研究開発予定表（様式2-b） 8](#_Toc120725988)

[２－５．運営体制 10](#_Toc120725989)

[２－５－１．拠点・プロジェクトの構成図（組織・体制に係る） 10](#_Toc120725990)

[２－５－２．拠点運営機構 11](#_Toc120725991)

[２－５－３．産学官共創システム構築の計画 12](#_Toc120725992)

[２－５－４．持続可能性 14](#_Toc120725993)

[３．参画メンバー 15](#_Toc120725994)

[３－１．参画機関 15](#_Toc120725995)

[３－１－１．代表機関 15](#_Toc120725996)

[３－１－２．参画機関（大学等） 16](#_Toc120725997)

[３－１－３．参画機関（企業等） 16](#_Toc120725998)

[３－１－４．参加者リスト(様式4) 16](#_Toc120725999)

[４．資金計画（様式3） 18](#_Toc120726000)

[５．特殊用語等の説明 19](#_Toc120726001)

# １．基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| **対象分野** | ※対象分野を記載してください。  共創分野・地域共創分野 |
| **拠点名称** |  |
| **代表機関名** |  |
| **拠点運営機構の設置責任者** |  |
| **プロジェクトリーダー** |  |
| **副プロジェクトリーダー** |  |
| **幹事自治体の職員である副PLまたはPL補佐（地域共創分野のみ）** |  |
| **幹事機関**  **（地域共創分野のみ）** | ○○大学、国立研究開発法人○○研究所、○○高等専門学校、  ○○市、株式会社○○ |
| **参画機関**  **（大学等）** | ○○大学、国立研究開発法人○○研究所、○○高等専門学校  ※参画がない場合は、「参画なし」と記載してください。 |
| **参画機関**  **（企業等）** | 株式会社AA、株式会社BB、CC株式会社  ※自治体が参画する場合はこの欄に記載してください。 |
| **実施期間** | 202○年度開始　～　20○○年3月末日　終了予定　　　※最長10年度 |

|  |  |
| --- | --- |
| **拠点ビジョン/地域拠点ビジョン** | **※共創分野は「拠点ビジョン」を、地域共創分野は「地域拠点ビジョン」を記載してください** |
| **概要** | ※研究開発、プロジェクト推進の内容全体がわかるように300字以内でまとめてください。  ※図、表の使用は不可です。 |
| **関連するSDGs** | ・SDG2 飢餓をゼロに  ・SDG7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  　・・・  ※複数設定いただいて構いません。 |

# ２．全体実施計画

※　この章には、ビジョンの実現に向けた取り組みを記載いただきます。プロジェクト終了までの計画を記載してください。

※　以下、「拠点ビジョン」の記述は、共創分野においては「拠点ビジョン」、地域共創分野においては「地域拠点ビジョン」を指すものとします。

## ２－１．拠点・プロジェクトの構成（研究開発内容に係る）

※　本プログラムの趣旨の１つである「バックキャストによるイノベーションに資する研究開発」を表す、研究開発の側面としての拠点・プロジェクトの構成を図示してください（以下は、作成例です）。

※　様式2のパワーポイントファイルに作成した上で、画像を以下に貼り付けてください。

（例示）

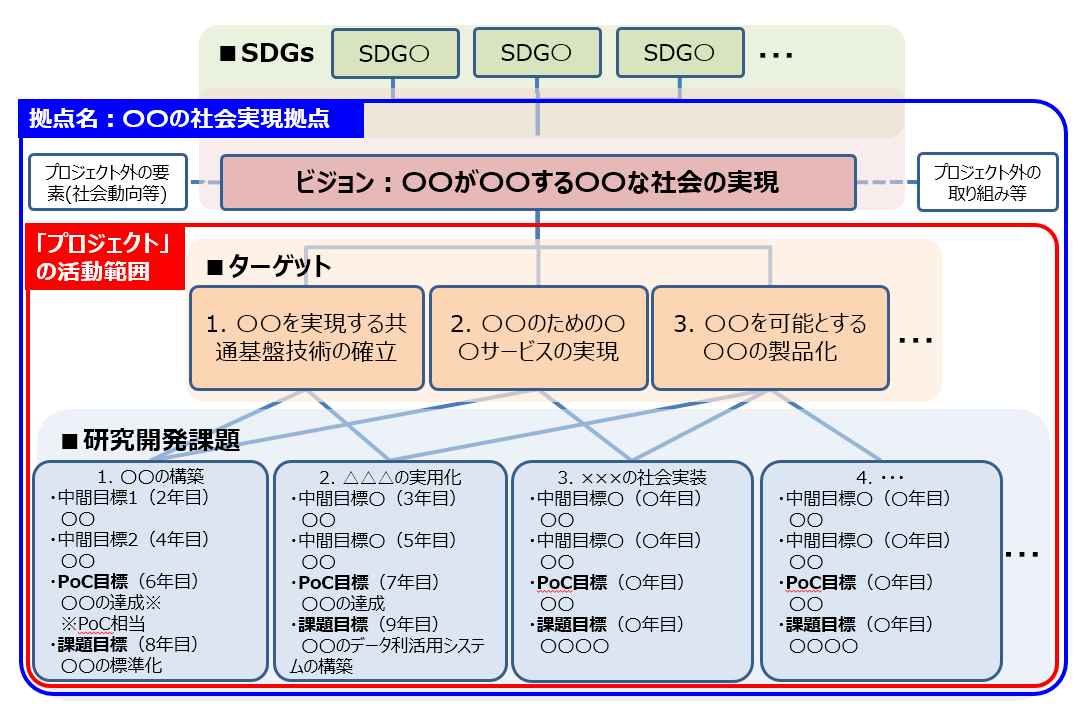


図１　拠点・プロジェクトの構成図

## ２－２．拠点ビジョン

共創分野と地域共創分野で設定されるビジョンの内容が異なります。それぞれの内容で記載してください。

**＜共創分野＞**

【拠点ビジョン名】

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【拠点ビジョン策定のもととなるＳＤＧｓ】

※　複数設定することも可能です。

【拠点ビジョンの内容】

以下の観点を踏まえた拠点ビジョンを具体的に記載してください。

・10～20年後の未来のありたい社会像であること

・国レベルやグローバルレベルの社会課題を捉え、ウィズ／ポストコロナ時代を考慮していること

・代表機関のミッション等に基づき、自身の強みや特色を伸ばし発揮することで実現できるものになっていること

・全ての参画機関と十分に議論して策定され、共有されていること

・野心的であり、わくわくする内容であること（※i）

・「誰の」「どのような」課題を解決したいのか、SDGsのどの項目を「どのように」解決しようとするのか、という視点を踏まえて検討されていること

・科学的根拠に基づいたストーリー性のある内容になっていること

※なお、記載にあたっては、以下の要素も考慮・反映するようにしてください。

・拠点ビジョンを設定した背景（社会的・経済的背景、他の動向、現在の課題（技術面、経済性、規制面等）、多様なステークホルダーの意見等）

※i：科学的根拠に基づいたストーリー性のある独創的構想によって想起される、期待感や高揚感等を指します

【目指す将来の拠点像】

※拠点ビジョンと併せて、拠点ビジョンの実現に向けて必要であり相応しい、「目指す将来の拠点像」を記載してください。

※記載にあたっては、代表機関のミッション等における提案プロジェクト（拠点）の位置づけを明確化した上で、その位置づけを踏まえて、どのように自身の強みや特色を伸ばし発展させていくか、代表機関としてプロジェクト終了時にどのような姿になっていたいのか（目指す将来の機関像）も明確化し記載してください。

【プロジェクト実施期間における拠点ビジョンの深掘り・ブラッシュアップ等の作り込み】

※上記に掲げた拠点ビジョンについて、プロジェクト実施期間中に参画機関・参加者とどのように議論・共有をしていくか、及び特に企業等は拠点ビジョンをどのように捉えて、本プロジェクトにどのような期待をもってコミットするのかについて、具体的に記載してください。特に企業のコミットメントについては、例えば中期経営計画への反映など、参画企業が自分事として、かつ総力を挙げて取り組む姿勢を対外的あるいは客観的に示している事項があれば、併せて具体的に記載してください。

**＜地域共創分野＞**

【地域拠点ビジョン名】

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【地域拠点ビジョン策定のもととなるＳＤＧｓ】

※ 複数設定することも可能です。

【地域拠点ビジョンの内容】

以下の観点を踏まえた地域拠点ビジョンを具体的に記載してください。

・おおむね10年後の未来のありたい地域の社会像であり、ウィズ/ポストコロナ時代を考慮していること

・代表機関のミッション等に基づき、自身の強みや特色を伸ばし発揮することで実現できるものになっていること

・全ての参画機関と十分に議論して策定され、共有されていること

・野心的であり、わくわくする（※i）内容であること

・「誰の」「どのような」課題を解決したいのか、SDGsのどの項目を「どのように」解決しようとするのか、という視点を踏まえて検討されていること

・代表機関の研究ポテンシャルを活かしつつ、地方自治体や企業等のパートナーシップのもと、地域の産学官からの参画機関・参加者が自分事として、かつ総力を挙げて取り組み、また、地域の社会課題の解決を含んでいること

・科学的根拠に基づいたストーリー性のある内容になっていること

※なお、記載にあたっては、以下の要素も考慮・反映するようにしてください。

・地域拠点ビジョンを設定した背景（当該地域の社会的・経済的背景、他の動向、現在の課題（技術面、経済性、規制面等）、多様なステークホルダーの意見等）

・上記のような背景を踏まえた、地域課題を科学技術を活用して解決できる見通し・展望

§地域拠点ビジョンは、本格型期間の5年度目を目途に、一部の実現の見通しが得られるようにして下さい。

※i：科学的根拠に基づいたストーリー性のある独創的構想によって想起される、期待感や高揚感等を指します

【目指す将来の拠点像】

※地域拠点ビジョンと併せて、地域拠点ビジョンの実現に向けて必要であり相応しい、「目指す将来の拠点像」を記載してください。

※記載にあたっては、代表機関のミッション等における提案プロジェクト（拠点）の位置づけを明確化した上で、その位置づけを踏まえて、どのように自身の強みや特色を伸ばし発展させていくか、代表機関としてプロジェクト終了時にどのような姿になっていたいのか（目指す将来の機関像）も明確化し記載してください。

【プロジェクト実施期間における地域拠点ビジョンの深掘り・ブラッシュアップ等の作り込み】

※上記に掲げた地域拠点ビジョンについて、プロジェクト実施期間中に参画機関・参加者とどのように議論・共有をしていくか、及び特に企業等は拠点ビジョンをどのように捉えて、本プロジェクトにどのような期待をもってコミットするのかについて、具体的に記載してください。特に企業のコミットメントについては、例えば中期経営計画への反映など、参画企業が自分事として、かつ総力を挙げて取り組む姿勢を対外的あるいは客観的に示している事項があれば、併せて具体的に記載してください。

## ２－３．ターゲット

※　拠点ビジョンからバックキャストにより設定するターゲットについて、ターゲットごとに具体的に記載してください。

※　なお、ターゲットはプロジェクト期間内での達成を目指すものですが、達成が一部実現する時期についても示してください。

**(a)　ターゲット1：○○○○**

**・ターゲット設定の背景**

※　共創分野は、国レベルやグローバルレベルの社会ニーズ（課題解決を望む主体は誰であり、それはどのような課題であるか）、地域共創分野は、地域課題の解決を望む主体は誰であり、それはどのような課題であるかを的確に捉えた上で、拠点ビジョン実現にこのターゲットが必要な具体的な理由を記載してください。

**・達成すべき目標**

※　ターゲットの内容と実現を目指す具体的な目標、および実現する時期について記載してください。

**(b)　ターゲット2：○○○○**

**・ターゲット設定の背景**

**・達成すべき目標**

※　ターゲットの数に応じて追加してください。

## ２－４．研究開発課題

### ２－４－１．研究開発計画（全体）

※**ここにはプロジェクトの全期間中（最長10年度）におけるターゲットの達成手段としての研究開発課題について記載してください。**

※　２－３で設定したどの**ターゲットと関連性があるのかが分かるように記載してください（なお研究開発課題については、社会動向の変化やプロジェクトの進捗状況を踏まえつつ、拠点ビジョン・ターゲットからのバックキャストを繰り返して、必要に応じた追加・入替・中止等を行うことができます）。**

※　当該研究開発課題の実施における研究開発体制・マネジメント体制の構築等についても記載してください。

※　産学官連携、異分野融合の取組が明確になるように記載してください。

※　拠点としての強み（研究、技術、知財等）を踏まえ、それらが明確かつ具体的になるように記載してください。

**■ 研究開発課題1：○○○○**

**（1）関連するターゲット**

ターゲット○：○○○

**（2）本研究開発課題の概要と必要性**

※　拠点ビジョン・ターゲットとの関係を踏まえて記載してください。

**（3）研究開発体制**

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発課題リーダー** | 氏名（○○大学　○○研究科　教授） |
| **幹事機関（地域共創分野のみ）** | ○○市、◯◯大学、（株）◯◯ |
| **参画機関（大学等）** | ○○大学、◯◯研究開発法人◯◯研究所 |
| **参画機関（企業等）** | AA（株）、◯◯県 |

**（4）研究開発計画と達成目標**

※　ターゲットで設定した事項の実現を目指すための研究開発計画とその達成目標（社会実装の具体的な姿）を記載ください。その際、7年度目を目処に概念実証（PoC: Proof of Concept）を達成することを踏まえてマイルストーンを設定し、その実現に向けた計画を定量的に策定してください。単に実施する研究開発の活動のみの記載とはしないでください。

※　達成目標は、ターゲットで設定した事項を実現するための重要課題（ボトルネックとなる課題）を中心に設定し、その目標が達成されれば、ターゲットが実現可能となるものとしてください。また、可能な限り数値的目標を含めて記載ください。

※　当該研究開発課題における各参画機関の責任・役割分担について、明確に記載ください（計画のどの部分を誰が担うか。特に、大学等と企業等との役割分担を明確にしてください。）

※　以下の観点を含め、具体的な研究開発の内容・計画を記載してください。

・プロジェクト終了時に達成すべき定量的目標

・研究開発課題の達成目標と比較した、現在の当該体制での研究開発のステータス

・関与する各参画機関の役割・必要性

**（5）ベンチマーク**

※　社会課題の解決にあたり、他の研究開発や代替手段と比較して優位性等が明確であることが必要です。以下について、国内外の研究開発動向を含め、定量的に記載してください。

・技術的課題およびその難易度と実現可能性

・従来技術や既存知的財産権の確認による、本提案創出技術の優位性・相違点

・社会実装にあたっての課題（技術面、経済性、規制面等）

**■ 研究開発課題2：○○○○**

※　研究開発課題の数に応じて項目を追加してください。

### ２－４－２．研究開発予定表（様式2-b）

※　様式2-bのパワーポイントファイルに研究開発予定表、およびロードマップを記載してください。

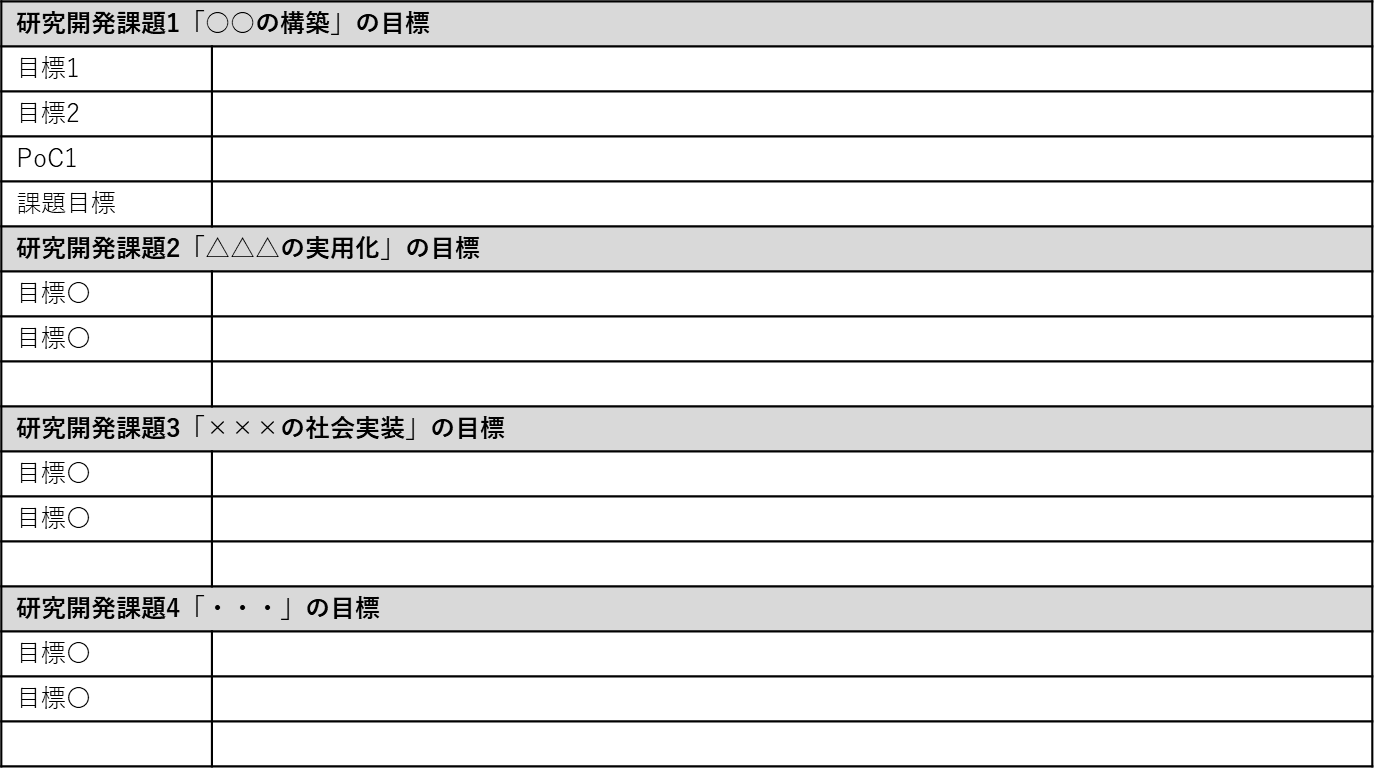
※　各研究開発課題に対して、マイルストーンとなる目標・PoCの時期、内容を記載してください。

※　研究開発課題とターゲットとの関係がわかるように記載してください。

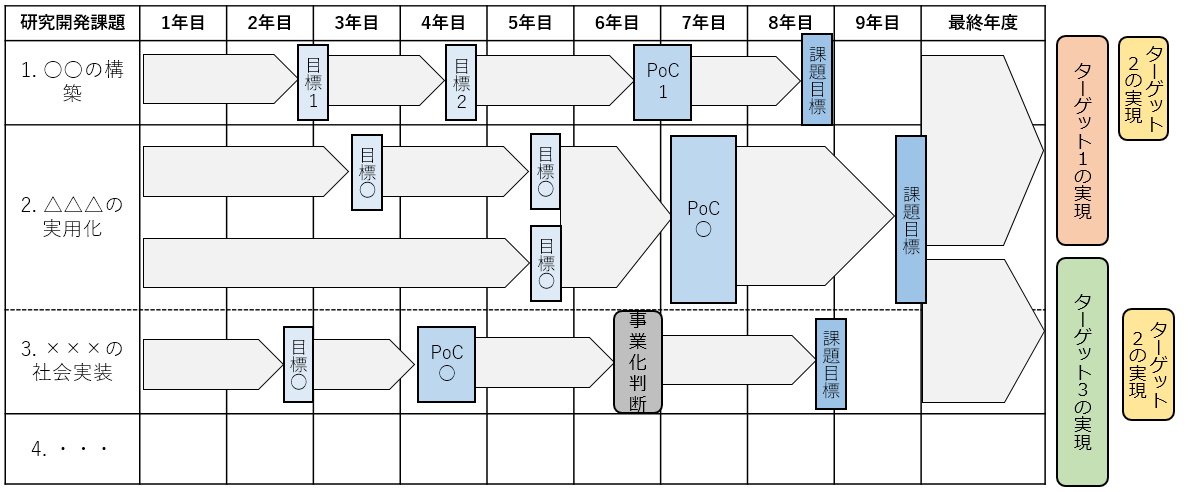
※　ターゲットで設定した事項の実現を目指すための研究開発計画とその達成目標（社会実装の具体的な姿）を記載ください。

※　その際、7年度目を目処に概念実証（PoC: Proof of Concept）を達成することを踏まえてマイルストーンを設定し、その実現に向けた計画を定量的に策定してください。単に実施する研究開発の活動のみの記載とはしないでください。

(例示：研究開発予定表)



(例示：ロードマップ)



## ２－５．運営体制

※　ここには、プロジェクトの全期間中に実施する内容をまとめて記載してください。

※　産学官共創拠点で構築する体制、代表機関の具体的な役割、産学官連携マネジメント改革の加速について記載してください。

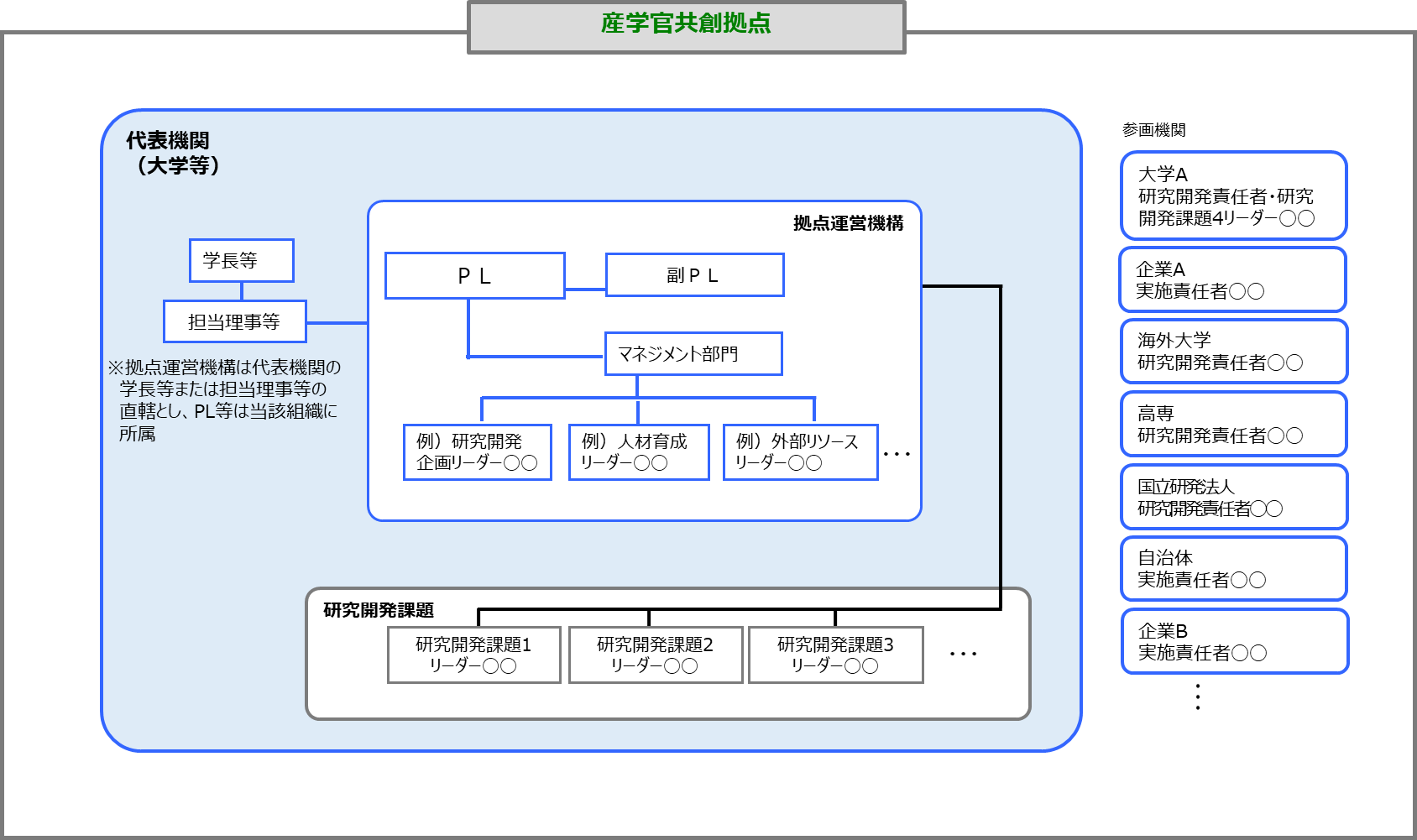
※運営体制の構築に係わる機関があれば、以下の表に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **幹事機関（地域共創分野のみ）** | ○○市、◯◯大学、（株）◯◯ |
| **参画機関（大学等）** | ○○大学、◯◯研究開発法人◯◯研究所 |
| **参画機関（企業等）** | AA（株）、◯◯県 |

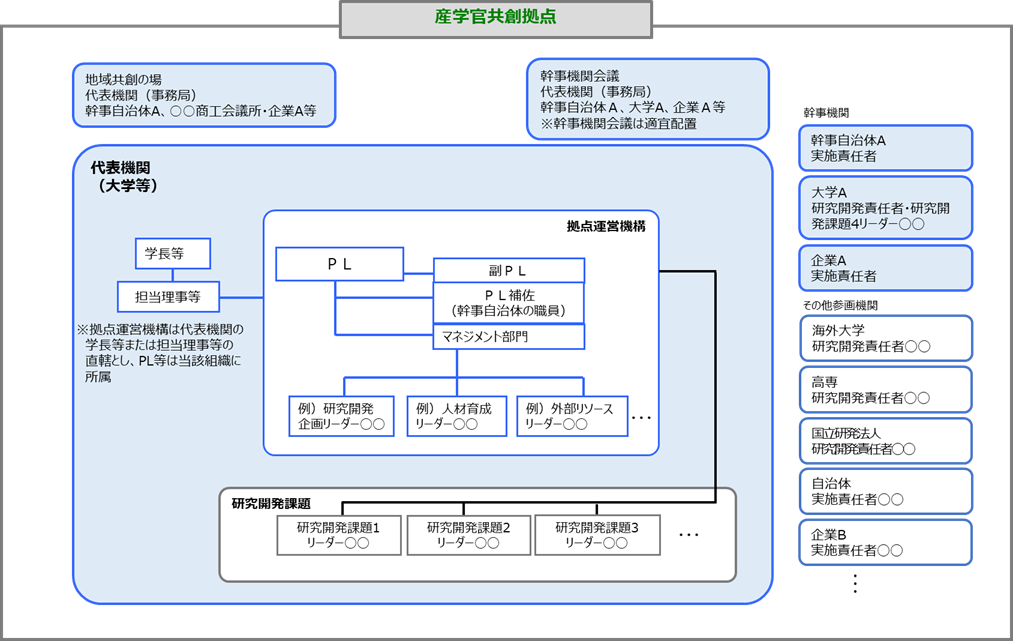
### ２－５－１．拠点・プロジェクトの構成図（組織・体制に係る）

※　本プログラムの趣旨の１つである「自立的・持続的な拠点形成が可能な産学官共創システムの構築」を表す、組織・体制の側面としての拠点・プロジェクトの構成を図示してください（項目1-1.とは異なります；以下は、作成例です）。

**＜共創分野＞**



**＜地域共創分野＞**



**【地域共創の場】**

※　以下に示す役割を担う会議体であることに留意し、代表機関が幹事自治体や主たる参画企業等とともに、運営・推進する計画や構想について、具体的に記載してください。

・産学官のステークホルダーが集い、地域拠点ビジョンを策定すること

・地域拠点ビジョンの達成に向けた計画の進捗確認とそれを踏まえた拠点の活動に係る支援、必要に応じた地域拠点ビジョンの見直しを行うこと。

・地方自治体（幹事自治体等）の政策立案・実行等に対し、拠点活動に立脚した提言をすること

・その他、地域拠点ビジョンの実現に向けた、構成員の出身組織等による支援に係ること

※　文部科学省がガイドラインを提示している「地域連携プラットフォーム」を代表機関や幹事自治体が関わって設置している（予定を含む）場合は、同プラットフォームを活用しつつ運用する計画や構想についても記載してください。

### ２－５－２．拠点運営機構

**(a)　代表機関及び拠点運営機構の設置責任者の基本方針**

※　代表機関においてプロジェクト・拠点の全体管理を担う組織として設置・運営するにあたり、代表機関及び拠点運営機構の設置責任者は、代表機関のミッション等における拠点の位置づけを明確にした上で、代表機関自身のミッション等に基づく社会的な役割を果たすことに寄与する構想・道筋等の基本方針について、具体的に記載してください。

※　代表機関及び拠点運営機構の設置責任者が、具体的にどのようにＰＬ及び副ＰＬのリーダーシップを発揮させるようにしているかについても記載してください。

※　なお、拠点運営機構の設置責任者は、代表機関の長または担当理事等です。

**(b)　 拠点運営機構の運営体制と具体的取組**

※　プロジェクト・拠点を運営・支援する体制を詳細かつ具体的に記載してください。その際、代表機関の既存の組織・体制（産学連携本部、管理部門、オープンイノベーション機構、TLO等）の役割や連携内容が分かるように記載してください。

※　代表機関における拠点の全体管理等の取組（ＰＬや副ＰＬのリーダーシップや積極的・柔軟なマネジメント力を発揮するための方策や拠点の活動状況を代表機関及び参画機関の間で共有する仕組みなど）について記載してください。

※　代表機関がJSTのセンター・オブ・イノベーション（COI）プログラム及び産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）など、他の産学官連携拠点形成型プログラム等を実施している（最近まで実施していた場合を含む）場合、これらの運営組織との連携や効率的・効果的な運営についても考慮の上、それが分かるように記載してください。

**(c)　プロジェクトリーダー（ＰＬ）及び副プロジェクトリーダー（副ＰＬ）の基本方針**

※　拠点運営機構のもとでプロジェクト・拠点の全体管理の実質的責任を担う立場として、ＰＬ及び副ＰＬは、関係する機関・メンバーとともに、拠点をどのように先導しようとするのかについて、基本方針を具体的に記載してください。

※　その際、年齢や性別、国籍を問わず、多様な専門性、価値観等を有するプロジェクト運営も考慮し、そのために取り得る方策についても記載してください。

※　代表機関及び拠点運営機構の設置責任者が、具体的にどのようにＰＬ及び副ＰＬのリーダーシップを発揮させるようにしているかについても記載してください。

※　（地域共創分野のみ）幹事自治体の職員である副ＰＬまたはＰＬ補佐に求める役割等についても記載してください。

### ２－５－３．産学官共創システム構築の計画

※　産学官共創システムとは、代表機関を中核とし、多様なステークホルダーの参画のもと、良質な研究開発成果・知財やデータの創出・活用、事業化・社会実装、ベンチャー創出、人材育成等の「知」、「資金」、「人」の好循環を生み出すマネジメント体制が整備されたシステムです。以下の(i)から(ix)のそれぞれについて、記載してください。

※　本プログラムは「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」（以下、ガイドラインという。）を踏まえた産学官連携マネジメント改革に取り組むことを要件としています。必ずガイドラインを踏まえた内容としてください。

【https://www.mext.go.jp/a\_menu/kagaku/taiwa/1380912.htm】

「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン【追補版】」

【https://www.meti.go.jp/press/2020/06/20200630004/20200630004-2.pdf】

※　産学官連携マネジメント改革には、研究領域や学部等を横断した研究者の組織化を行うための取組（知的財産権の積極的活用を前提とした契約、産学官連携が進む人事評価制度、インセンティブとしての給与、スペース、研究費配分への反映等）を期待します。

**(i)　全体運営における場作り**

※　拠点運営に必要な規約等の策定や全ての参画機関が研究進捗の共有・意見交換を行うことのできる場・機会をどのように設定するかを記載してください。

**(ii)　研究開発企画（拠点ビジョン・ターゲット・研究開発課題の探索・構築）**

※　拠点ビジョンの策定・共有、新たなターゲット・研究開発課題の設定（その繰り返し・更新を継続）や新たな技術シーズの発掘とニーズ・課題とのマッチング、研究開発課題の組成をするための取組について記載してください。

**(iii)　産学官連携マネジメント**

※　計画・進捗管理、知財・データの管理・活用、経理・契約管理、代表機関及び参画機関間での調整、持続的な産学官共創システムの形成に向けた取組について記載してください。

※　企業等が参画することへの価値を提供できる知的財産の取扱い等の方針について記載してください。

**(iv)　研究開発基盤**

※　基幹となるサイエンスの創出・育成について記載してください。

※　機器・施設（実証フィールド含む）の整備や運用等の仕組みについて記載してください。代表機関及び参画機関の機器・施設を利用・共用する予定があれば、その詳細も記載してください。

※　異分野融合、新分野開拓のための取組について記載してください。

**(v)　外部リソース獲得**

※　自立化に向けた資金計画の検討、新たな参画機関の勧誘、共同研究や資金・リソース拠出等に係る企業等との交渉、競争的資金等の獲得活動、拠点の広報活動、大学等発ベンチャー投資への対応など外部リソース獲得の取組について記載してください。

※　大学等の民間資金の受け入れにおいて、現在の費用負担状況、及びこれから取り組む具体的な費用負担（教員及び学生等の人件費の算定方法や間接経費を含めた共同研究に必要となる経費の算定方法を含む。）等の方針について記載してください。

**(vi)　出口戦略・社会実装に向けたマネジメント**

※　社会ニーズの把握、社会実装を担う企業との連携・新規参入のコーディネート、実証フィールドや成果の社会実装の場となる地方自治体との連携・新規参入のコーディネート、スタートアップ立上げ支援、知財化・ライセンスアウトの推進、コンソーシアムの形成・運営など、創出される成果の出口戦略、社会実装に向けた方針について記載してください。

**(vii)　人材育成**

※　持続的な拠点の維持・発展に向けた、マネジメント人材・研究人材の育成取組について記載してください。

※　大学、公的研究機関、企業等の組織の壁を越えて、人材が流動化するための方針について記載してください。

※　産学官連携活動に継続的に携わることができる柔軟な人事評価制度を設計するための方針について記載してください。

**(viii)　地域創生・地域活性化（地域共創分野のみ）**

※　学生が当該地域に定着する仕組みの構築や幹事自治体をはじめとする拠点に参画している地方自治体との密な連携活動等、拠点活動を通じた地域創生・地域活性化に向けた取組について記載してください。

**(ix)　その他**

※　上記以外の機能に関する取組について、必要に応じて適宜記載してください。

### ２－５－４．持続可能性

※　プロジェクト終了後において、拠点を自立化し、拠点ビジョンを実現させる構想（外部リソースの獲得、人材育成、企業の呼び込み等）について記載してください。

※　自立化に向けた外部リソースの獲得について、プロジェクト期間中での具体的な取組を記載してください。

※　本プロジェクトで構築する産学官共創システムを代表機関本体の運営にも継承させる仕組みについて記載してください。

# ３．参画メンバー

## ３－１．参画機関

　※　ここには、代表機関、参画機関（大学等、企業等）の情報を記載してください。

　※　地域共創分野は幹事機関（幹事自治体、大学、企業）についても記載してください。

※　参加者の情報は、様式4\_プロジェクト参加者リストに記載してください(3-1-4参照)。

※　海外の参画機関についても記載してください。

### ３－１－１．代表機関

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 | 学長　○○　○○ | |
| プロジェクトリーダー | ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 副プロジェクトリーダー | ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 幹事自治体の職員である副PLまたはPL補佐（地域共創分野のみ） | ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 拠点運営機構 | 拠点運営機構の設置責任者 氏名 |  |
| 所属・役職 | ※上記責任者の所属・役職 |
| JSTとの連絡窓口 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 住所 | ※所属先の所在地 |
| 電話番号 |  |
| 電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |

※　地域共創分野は幹事自治体の職員である副PLまたはPL補佐もご記入ください。

**幹事機関（地域共創分野のみ）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 幹事自治体  機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 2 | 大学等  機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 3 | 企業等  機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |

### ３－１－２．参画機関（大学等）

**※　代表機関以外の大学等が参画しない場合は、表を削除し「参画なし」と記載してください。**

**※　地域共創分野はその他の参画機関（幹事機関以外）を記載してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 2 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 3 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |

※　必要に応じて表を増減してください。

### ３－１－３．参画機関（企業等）

**※地域共創分野はその他の参画機関（幹事機関以外）を記載してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 実施責任者 | 氏名 | ※本プロジェクトを担当する責任者氏名 |
| 所属・役職 | ※上記責任者の所属・役職 |
| 2 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 3 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |

※　必要に応じて表を増減してください。

### ３－１－４．参加者リスト(様式4)

※　様式4\_プロジェクト参加者リストにご記載ください。

※　記入に当たっては以下のことにご留意ください。

・プロジェクトリーダー、副プロジェクトリーダー、プロジェクトリーダー補佐、拠点運営機構の設置責任者、マネジメント部門の担当者（部門責任者レベル）、研究開発責任者、実施責任者、研究開発課題リーダー、前記以外の研究開発担当者（プロジェクトに参画する大学等の研究者等）について、氏名、所属・役職、プロジェクトでの役割、エフォートをご記載ください。

・職位について

各参画機関（大学等）の責任者：研究開発責任者（※代表機関においてはPL）

各参画機関（企業等）の責任者：実施責任者

研究開発課題の責任者：研究開発課題リーダー

　　　研究開発課題リーダーは研究開発責任者と兼ねることが可能です。

　　　研究開発課題リーダーは大学等に身分を有している必要があります。

※　「エフォート」は、当該研究者の「全仕事時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合」となります。なお、この「全仕事時間」には、研究活動にかかる時間のみならず、教育活動や管理業務等にかかる時間が含まれます。エフォートは、原則５％から１００％までの５％刻みで設定してください。

※　　本リストは、研究倫理eAPRIN (旧CITI Japan)の受講確認も兼ねています。必要事項の記入の詳細は、様式4をご確認ください。

# ４．資金計画（様式3）

※　本項目は、様式3\_資金計画のエクセルファイルに記入してください。

# ５．特殊用語等の説明

**特殊用語等の説明**

|  |  |
| --- | --- |
| **用語** | **説明** |
|  | ※計画書で使用している業界用語、専門用語及び略語等の特殊用語のうち、研究開発を総合的に把握するうえで必要と思われる用語について、わかりやすく簡単に解説を記入してください。  ※必要に応じて行を追加してください。 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |